

# ～健口と輝く笑顔のために～

# 歯科衛生だより会報

2021 October vol. 65

発行人／吉田直美 発行／公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19  
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

## 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

### 「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」 修了者アンケート3年間のまとめ

本会では、平成29年度から、歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業として「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会（厚生労働省委託・日本歯科衛生士会主催）」を毎年4回実施している。

本講習会の目的は、地域で中核を担う研修指導者や臨床実地指導者等の人材を育成し、地域における指導体制の確保としている。研修プログラムの構成は、歯科衛生士研修の計画立案と

内 容(一部)
歯科衛生士の復職支援・離職防止等の推進に関する共通ガイドラインの理解
研修カリキュラムのプランニング
労働法規について
組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方
研修指導者・臨床実地指導者の役割について

実践ならびに評価に関する基本的な知識・技能・態度を習得するための「歯科衛生士のための研修カリキュラムの開発」である。



令和元年度 大阪会場

調査結果から、講習会修了者が地域に戻り、研修指導者・臨床実施指導者として研修会の企画・実現に向け鋭意取り組んでいる一方、人材確保に向けてのさまざまな課題が見えてきた。

### 見えてきた課題

全国の歯科衛生士の約9割が歯科診療所勤務である。小規模な施設では指導者の配置が困難な状況が推測され、新人および復職した歯科衛生士の指導体制がないことが課題として挙げられた。この課題を解決するためには、歯科衛生士養成機関・歯科衛生士会・歯科医師会等との連携協力による研修体制を整えることが求められる。

また、全国の歯科衛生士の就業率は5割を切っているが、令和元年度に実施した歯科衛生士の勤務実態調査によると、25歳から39歳までの未就業歯科衛生士の7割以上が再就職のための研修を希望している。しかしながら、「復職を希望する歯科衛生士の連絡先、連絡方法がわからない」という復職希望の歯科衛生士の所在が不明であることが浮き彫りとなった。同様に、求人活動を行いたい地域の歯科医療機関が未就業の歯科衛生士に対し直接アプローチすることが難しいという課題もみえた。復職を希望する未就業者の掘りおこし、未就業者と地域歯科医療機関とのマッチングに関する事業への更なる取り組みを期待したい。

本会としても、歯科衛生士免許保持者の潜在化防止への対策および求人・求職情報に関するデータシステムの検討など、総合的な支援体制を整える必要があろう。

引き続き、復職支援および免許取得後の新人歯科衛生士の離職防止事業を推進していきたい。

### 調査の概要

講習会を開催した約1年後に、本講習会修了者を対象に研修で学んだことを地域において実現したか否かについて調査を実施している。今回、平成29年度、平成30年度、令和元年度の講習会の各々1年後に実施したアンケートの結果をまとめたので報告する。講習会は、この3年間で12回開催され、受講生数は379名であった。そのうち296名からの回答が得られ、回収率は78.1%であった。調査内容は、参加者の所属・講習会の内容の伝達・職場や地域で人材確保や復職支援につながる事業を企画・実施したか、またその事業の内容についてなどの10項目ほどである。



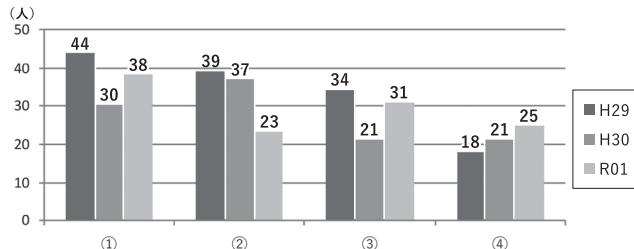
平成30年度 東京会場

## アンケートの結果(H29 - R01年度)

### 1. 所属について

3年間の集計結果によると受講者の所属は、「①都道府県歯科衛生士会等において研修事業の企画運営を担当する者(以下①)」が31%、「②歯科衛生士学校養成所の専任教員、実習指導員(以下②)」が27.4%、「③臨床実習施設の指導教員(以下③)」が23.8%であった。平成29年度は①が多かったが、平成30年度は②が多かった。令和元年度は③の参加を促したため増加がみられる。

#### 1 現在のご所属について、当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

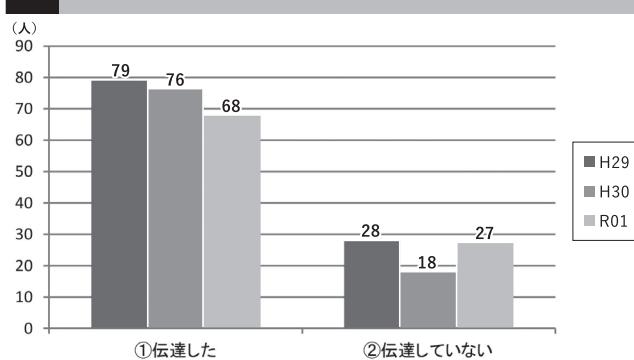


- ① 都道府県歯科衛生士会等において研修事業の企画運営を担当する者
- ② 歯科衛生士学校養成所の専任教員、実習指導員
- ③ 臨床実習施設の指導教員(歯科診療所、病院等)
- ④ 上記のほか、臨地実習施設等において実習生の指導を行っている者

### 2. 講習会の内容の伝達について

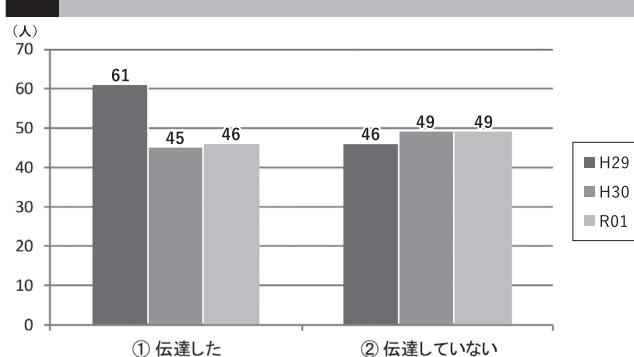
講習会の内容を職場に伝達したかをみると、「①伝達した」が75.3%、「②伝達していない」が24.7%であった。

#### 2-1 講習会の内容を職場へ伝達しましたか?



講習会の内容を歯科衛生士会に伝達したかをみると、「①伝達した」が51.4%、「②伝達していない」が48.6%であった。

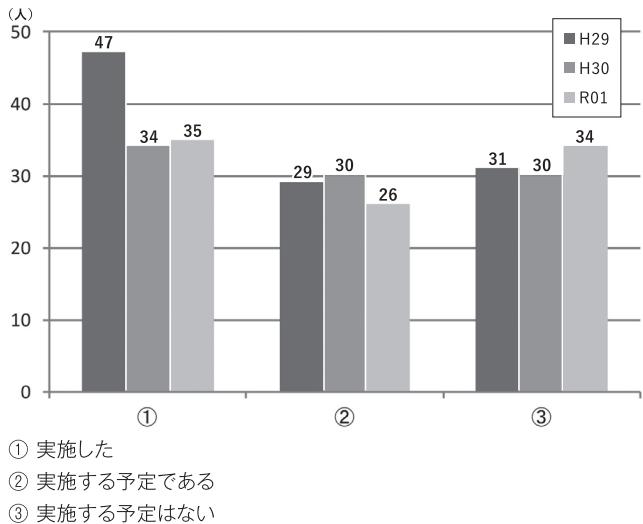
#### 2-2 講習会の内容を歯科衛生士会へ伝達しましたか?



### 3. 受講後に職場や地域で人材確保や復職支援につながる事業を企画または実施したかについて

受講後に職場や地域で人材確保や復職支援につながる事業を企画または実施したかを全体でみると、「①実施した」「②実施する予定である」が67.9%、「③実施する予定はない」は32.1%であった。

#### 3 受講後に職場や地域で人材確保や復職支援につながる事業を企画または実施しましたか?



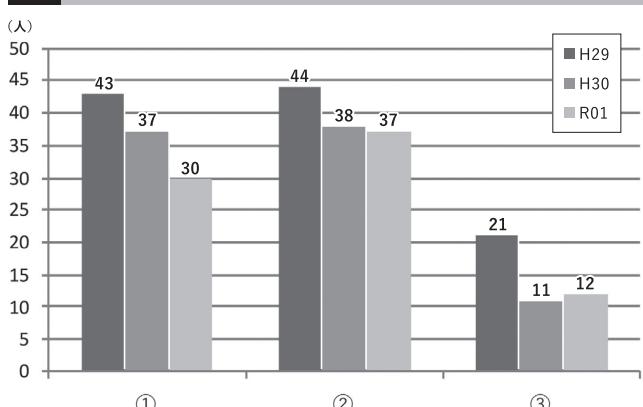
### 4. 実施または実施予定の事業内容について

\*3で①②と回答した方

#### 1) 事業について

実施または実施する予定の事業について全体を多い順にみると、「②新人育成・離職防止に関わる事業」が43.6%、「①復職支援に関わる事業」が40.3%、「③指導者育成に関わる事業」が16.1%であった。

#### 4-1 3で①②と回答した方へ伺います。 どのような事業ですか?(複数回答可)



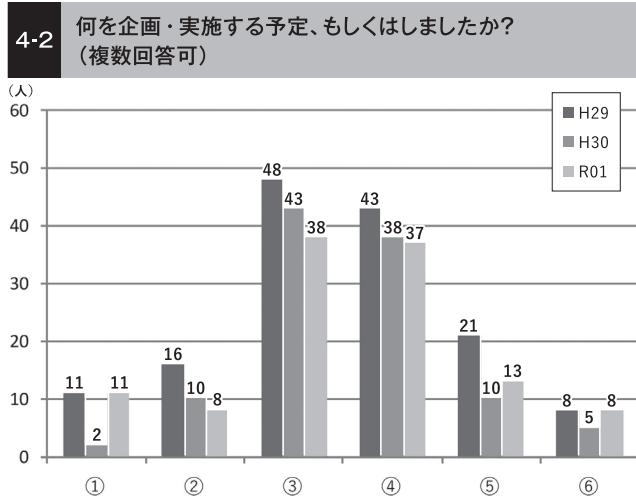
① 復職支援に関わる事業

② 新人育成・離職防止に関わる事業

③ 指導者育成に関わる事業

## 2)事業の内容について

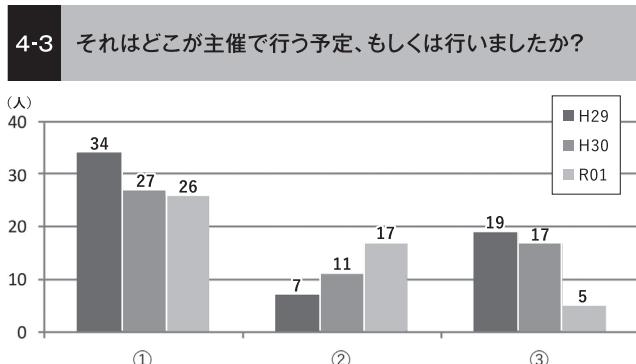
何を企画・実施する予定か、もしくは実施したかの具体的な内容について全体を多い順にみると、「③研修(座学・講義型)」が34.9%、「④研修(対話・体験型)」が31.9%、「⑤未就業者の掘りおこし」が11.9%であった。



- ① 人材確保に関する調査
- ② 技術研修を行える施設の確保
- ③ 研修(座学・講義型)
- ④ 研修(対話・体験型)
- ⑤ 未就業者の掘りおこし
- ⑥ 未就業者と地域歯科医院とのマッチング

## 3)事業の主催機関について

事業をどこが主催で行うかについて全体を多い順にみると、「①都道府県歯科衛生士会」が53.4%、「③所属教育養成機関」が25.6%、「②所属歯科医療機関」が21.5%であった。



- ① 都道府県歯科衛生士会
- ② 所属歯科医療機関
- ③ 所属教育養成機関

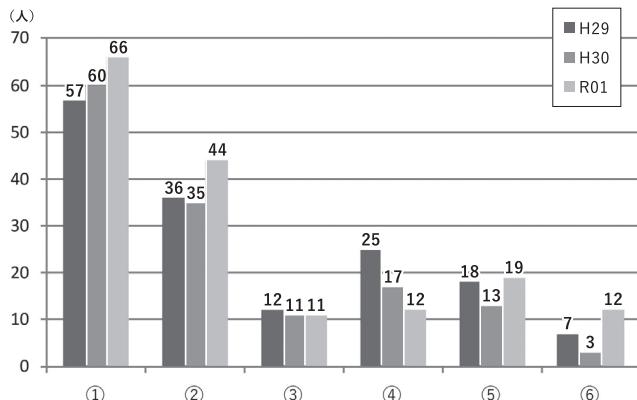
## 5.講習会後、どのような効果が出ているかについて

講習会受講後にどのような効果が出ているかについて全体を多い順にみると、「①指導者としての意欲が向上した」が40.0%、「②指導者としてのスキルが向上した」が25.1%、「④他の組織と協力して人材確保・復職支援に取組むようになった」が11.8%、「⑤新人もしくは再就業歯科衛生士の仕事をに対する意欲が向上した」が10.9%であった。

指導者としての意欲およびスキルが向上したという回答が全体の65.1%を占め、本講習会の研修の効果がみられる。引き

続き、事業の活性化を期待したい。

**5 全員に伺います。今回の講習会後、どのような効果が出ていますか?(複数回答可)**

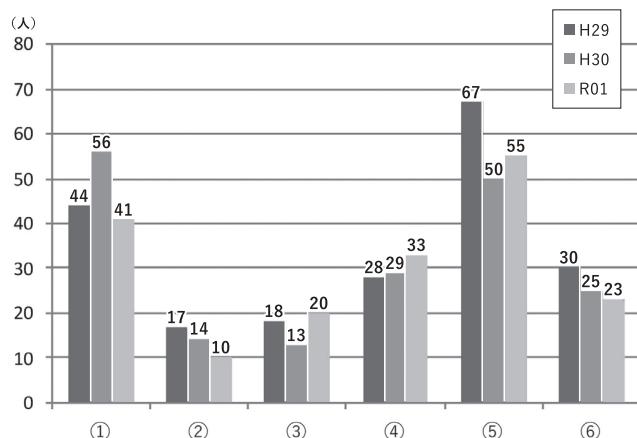


- ① 指導者としての意欲が向上した
- ② 指導者としてのスキルが向上した
- ③ スタッフ全員で新人や再就業歯科衛生士の育成にかかるようになった
- ④ 他の組織と協力して人材確保・復職支援に取組むようになった
- ⑤ 新人もしくは再就業歯科衛生士の仕事をに対する意欲が向上した
- ⑥ 新人もしくは再就業歯科衛生士の仕事をに対するスキルが向上した

## 6.現在の人材確保・復職支援の課題について

現在の人材確保および復職支援の課題について全体を多い順にみると、「⑤就業先に指導体制がない」が30.0%、「①復職を希望する歯科衛生士の連絡先、連絡方法がわからない」が24.6%、「④就職先の求める人材像が明確でない」が15.7%であった。

**6 全員に伺います。現在の人材確保や復職支援の課題は何だと思いますか?(複数回答可)**



- ① 復職を希望する歯科衛生士の連絡先、連絡方法がわからない
- ② OJT(On the Job Training)のやり方がわからない
- ③ 新人・再就業歯科衛生士の技術支援研修の企画が立てられない
- ④ 就職先の求める人材像が明確でない
- ⑤ 就業先に指導体制がない
- ⑥ 指導できる人がいない

(専務理事 河野 章江)

「希望の風」このタイトルには“新入会員が増え、歯科衛生士会に新たな風が吹いてほしい”という期待が込められています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で新しい生活様式が求められる中、会員同士のつながり、連携を維持しつつ、ソーシャルディスタンスを保たなければならない難しい対応が求められるようになりました。日本歯科衛生士会組織委員会は、各ブロックの代表から構成され、その役割のひとつに会員拡大や活性化があります。そこで、よく聞かれる「どうしたら会員拡大できるの?」「離職防止につながる活動はなに?」という質問に応えるため、各都道府県歯科衛生士会の工夫を凝らした活動や取り組みについて、ブロック毎に6回にわたりシリーズで紹介します。

今だからこそ、会員としての横のつながりや、職能団体の重要性を強く感じられた方が多くおられると思います。会の魅力をさらにパワーアップできる一助になれば幸いです。

ぜひ皆様から右記のQRコードより、ご意見やご感想をお寄せください。

(組織委員会)



## 熊本県歯科衛生士会

### 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍における 新人育成部門の研修開催への取り組みについて



公益社団法人 熊本県歯科衛生士会  
新人育成理事 山本 溫子

熊本県歯科衛生士会では歯科衛生士の資質の向上、早期離職防止・復職支援を目的として「新人育成研修会・6回コース」の研修会を行っています。平成23年度よりスタートし、令和3年の今年、10年目になります。

講師には、熊本県歯科衛生士会会員で実際に臨床の現場で活躍している方にお願いしています。カリキュラムは、医療接遇・アシスタントワークのコツ・口腔健康管理・資料収集のポイント・歯周治療の基礎知識・インプラント治療・キャリアデザイン・シャープニング実習・SRP実習に



なっています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、昨年度は感染対策として、これまでの集合型・対面形式の1日研修6回コースからオンラインでの半日の研修に切り替えることになりました。

私自身、歯科衛生士1年目の新人時代は、手技的なスキルもなく、また、患者さんに必要な情報を思うように伝えることもできませんでした。先生や先輩方にご指導を受けながらも仕事や自分自身に対して自信をなくし、仕事をすることが怖くなつた経験があります。当時から随分時間が経ちましたが、私の記憶の中に新人時代の「上手くなりたい」「自信を持って仕事をしたい」という想いがいつまでもありました。

以前から、熊本県歯科衛生士会会員として新人育成に携わっておりましたが、令和元年より熊本県歯科衛生士会の新人育成部門の理事になりました。歯科衛生士の仕事で「楽しむ」ことを経験するまで1人も辞めてほしくない、復職するときに不安なく仕事をしてもらいたいという思いは、新人育成担当理事になり、ますます強く私を突き動かす原動力となっています。

だからこそ、どんな状況でも、この「新人育成研修会」は開催したい、仕事に対して自信をなくすのではなく「楽しむ」

ことを伝えたい、歯科衛生士の仕事はやりがいがあり楽しい仕事だと実感してもらいたい、これらの思いから昨年は、新型コロナウイルス感染症禍において、試行錯誤の結果、オンライン3回コースで研修会を実施しました。

オンライン研修会は初めての試みであり、思いは伝わるのか不安はありました。やらない後悔よりやって実感・反省の精神で、本会の理解と協力のもとに実現しました。少人数ではありましたが新人歯科衛生士の仕事の悩みや技術に対するフォローができたと思います。

今年度は、新型コロナワクチンの接種が医療従事者にも、かなり進んでいることから、オンライン研修と感染対策を十分に考慮した上で、希望者には対面での実技の実習を含めた研修も開催しました。新卒の受講生以外にも、臨床経験が3年以上の方も受講されました。

研修会を通して、実技をオンラインで伝えることはできても対面研修と同じように実技を細かく指導しフォローすることは難しいと感じています。研修会後の受講生のアンケート結果を踏まえながら、今後の課題としてオンライン研修での不十分な部分の改善、工夫していくことを考えています。

一方で新型コロナウイルスの蔓延によりオンライン研修に慣れている受講者の方が多く、今年度の研修会開催にあたり良い影響もありました。

オンライン研修をする前に抱いていた不安は、受講生とのオンライン上ですが、会話を交わすことにより払拭できた感じています。

また、研修会の告知期間が約1か月と短い中、募集定員を超える受講申し込みがあり、オンライン研修が“当たり前”になっているのだと、時代の変化に柔軟に対応する歯科衛生士の多さを知ることができました。

熊本県歯科衛生士会では、今後も歯科衛生士の資質の向上、早期離職防止・復職支援、そして歯科衛生士を「楽しむ」ことができる人財をサポートする体制を取り続けていきます。

シリーズ

## 歯科衛生研究の紹介

vol. 3

歯科衛生士が取り組んだ研究論文の中から、歯科衛生士の日常業務に生かせるトピックをご紹介します。今、歯科衛生士には多職種連携においても患者さんに対しても根拠に基づく業務実践が必須です。研究紹介が皆様の業務のお役に立つことができましたら幸いです。

## MPCポリマーを用いた新たな義歯衛生管理のための細菌学的研究

徳島大学大学院  
医歯薬学研究部 口腔保健支援学分野 藤原 奈津美



## このテーマに取り組んだきっかけ

口腔衛生管理は「病原菌を含む口腔細菌を減じる」ことが基本的な考え方で、セルフケアではブラッシングや消毒薬の使用が主に勧められます。義歯を使用される高齢者は免疫力・運動機能の低下という特徴から口腔カンジダ症や義歯性口内炎が起こりやすいため、安全で効果的な義歯衛生管理方法が求められます。MPCポリマーは物質表面を超親水性にすることで細菌付着を抑制する、細菌数を減じるための新たな材料として期待されています。そこで我々はMPCポリマーを用いて、義歯性感染症の病原菌として考えられている*Candida*とメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の義歯表面への真菌・細菌付着抑制効果を検討しました。

## 研究の概要

義歯を模したアクリルレジン板(ADRP)にMPCポリマー処理を行いました。その後*Candida*属およびMRSA各々の菌液に浸漬させ、走査型電子顕微鏡(SEM)で観察しました(図参照)。ADRPに付着した真菌・細菌を寒天培地にて培養後、形成されたコロニー数を算出しました。この結果、全ての菌においてMPCポリマー処理群は、非処理群と比較して有意にコロニー数が少なかったことがわかりました。さらにこれらは、消毒薬のような真菌・細菌の殺菌および増殖抑制効果ではなく、菌表層が有する疎水性が関与し付着を抑制していることを明らかにしました。

## 日常の活動に生かすポイント

MPCポリマー処理は義歯表面の真菌・細菌を殺すのではなく、付着させにくくする効果を有することがわかりました。したがつ

て、MPCポリマーは義歯を清潔にした状態で予防的に使用されることがポイントです。また、MPCポリマーはFDA(アメリカ食品医薬品局)に承認された安全性を有し、保湿性に優れている観点からも、高齢者への義歯管理の使用に適するのではないかと考えます。使用する器材の特徴や作用を熟知することは、歯科衛生士にとって、より質の高い義歯衛生管理法の選択や対象者への的確な助言を行う一助になると考えます。

Fujiwara N, Yumoto H et al.: Suppressive effects of 2-Methacryloyloxyethyl phosphorylcholine (MPC)-polymer on the adherence of *Candida* species and MRSA to acrylic denture resin. *Heliyon*. 6(6): e04211. 2020.

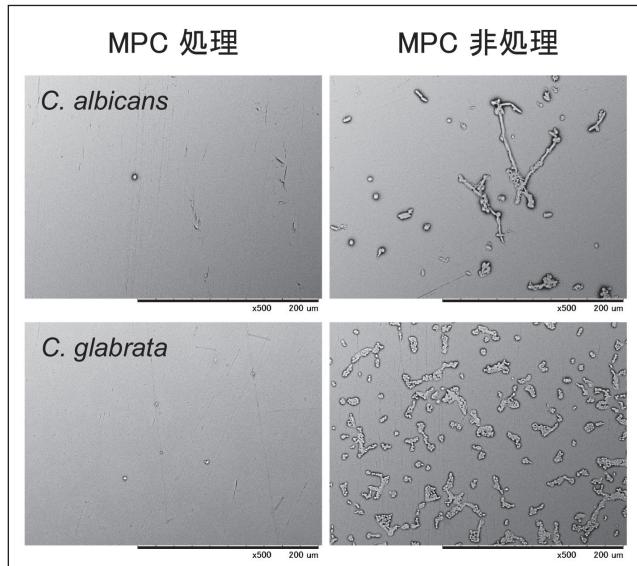


図 MPCポリマー処理時の義歯表面に付着した*Candida*のSEM画像

## 理事会報告

令和3年度第2回理事会が令和3年7月11日に開催された。審議事項および報告事項は次のとおりである。

## 審議事項

- (1) 令和4年度予算・制度等に関する要望について
- (2) 日本歯科専門医機構 専門医申請学会評価認定委員会について
- (3) 日本歯科専門医機構 新規専門医制度小委員会について
- (4) 公益社団法人日本歯科医師会 災害歯科保健医療連絡協議会委員について
- (5) 厚生労働科学研究費労働安全衛生総合研究事業「我が国における職域での歯科口腔保健を推進するための調査研究」について
- (6) 新人会員の承認について
- (7) その他

## 報告事項

- (1) 会務報告について
  - ① 業務執行理事等の職務執行報告について
  - ② 常任委員会等の報告について

- (2) 委員会の進め方及び旅費精算などについて
- (3) 金融資産の購入について(現状報告)
- (4) 令和3年度歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の応募について
- (5) 「歯科衛生士復職支援共通ガイドライン(改訂版)」及び「新人歯科衛生士技術支援共通ガイドライン(改訂版)」の経過報告について
- (6) 令和3年度傷害保険契約について
- (7) 事務局職員業務分担表について
- (8) 公益法人の各機関の役割と責任(内閣府資料の抜粋)について
- (9) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定について
- (10) 厚生労働省 ICTを活用した医科歯科連携等の検証事業等一式第1回委員会報告
- (11) 令和3年度第1回チーム医療推進協議会総会報告

# 歯科衛生臨床研究助成の紹介

本会では、国民の歯科口腔保健の推進に寄与することを目的として、歯科衛生臨床研究助成を行っています。本研究は、株式会社YDMの協賛による臨床研究テーマに基づく指定研究です。

下記に、2020年度助成者の研究概要を紹介します。2022年度研究助成の公募については、2022年2月以降の「歯科衛生だより会報」およびホームページに掲載の予定です。

## 免疫チェックポイント阻害剤による口腔粘膜炎への周術期等口腔機能管理

京都府立医科大学附属病院 歯科 大坪 牧子

化学療法による口腔粘膜炎は、食欲や闘病意欲の減少に繋がり、患者のQOLだけでなく、医科における治療効果の低下の一因となる。新たにがん治療薬である免疫チェックポイント阻害剤ニボルマブ(オプジー®)は、がん細胞を直接攻撃せず、免疫に作用し、有害事象が少ないとされるが、口腔への影響についての報告は少ない。そこで、口腔粘膜炎を発症したニボルマブ投与群(4例)と従来型の化学療法剤投与群(100例)に対して、周術期等口腔機能管理を実施、口腔粘膜炎の症状をスコア化、口腔内の環境および口腔粘膜炎の出現部位とその所見を比較した。

その結果、口腔粘膜炎の症状の平均スコアとその発症率は、ニボルマブ投与群の方が低値であった。しかし、ニボルマブ投与群において口腔粘膜炎は従来型の化学療法剤投与群に比べ、歯肉・口腔底・口角に出血・びらんがみられ、さら

に嚥下痛をより多く認めた。うち2例は、長期にわたり症状の改善と悪化を繰り返すことで口腔清掃不良となり、個々の症例に応じた、疼痛の緩和方法や歯磨き指導を含めた専門的口腔ケアが必要となつた。

本研究では、ニボルマブによる口腔粘膜炎の発症率が低く、口腔への影響が少なかつたが、その発症例では症状が強く、かつ遷延化していた。このため長期投与例では、晚期に口腔粘膜炎が発症する可能性を考慮し、継続的な口腔管理を行う必要性を感じた。

このように、歯科衛生士による周術期等口腔機能管理は、ニボルマブによる口腔粘膜炎の発症例のQOL向上に貢献し、全身治療の継続の一助になったと思われる。しかし、難治性の口腔粘膜炎の対応に苦慮したため、さらなる検討が必要であると考える。

## 活用しよう 日本歯科衛生士会ホームページ 「各種資料・刊行物 資料集 ダウンロード」のご案内

会員の皆様、こんにちは。日本歯科衛生士会ホームページをご活用されていますか？

今回は、本会ホームページのPCサイトのダウンロードページに、最近、掲載しました資料等をご案内いたします。（広報委員会）

### 2021年6月発行

令和3年度介護報酬の改定について [3MB](#)



### 2021年4月発行

令和2年度地域歯科衛生活動事業 [2.6MB](#)

岩手県 多職種連携研修会講義資料 [4.9MB](#)

新潟県 認知機能低下予防資料 [4.85MB](#)

奈良県 参考資料 調査 媒体 チラシ等 [817KB](#)

福岡県 歯ミング教室 [3.02MB](#)

実践マニュアル(高齢者の保健事業・介護予防) [6.45MB](#)

兵庫県 お口の健康 リーフレット(50歳対象) [1.25MB](#)

和歌山県 糖尿病ポスター [271KB](#)

糖尿病とお口の健康 リーフレット [466KB](#)

### 2021年2月発行

健やかなお子さまの成長を見守る  
お口の機能を育む習慣 [2.39MB](#)

<これまでのリーフレット>

- お口のケアとトレーニングで取り組むオーラルフレイル対策
- 脳卒中の方のお口の健康を守るために
- 毎日のお口のケアと歯科での専門的なケアが糖尿病の悪化を予防します！
- 手術が決まつたら歯科へ行きましょう



### 2020年12月発行

災害歯科保健活動歯科衛生士  
実践マニュアル2021 [5.85MB](#)



### 2020年10月発行

マスクをしたまでできるお口の体操  
(ポスター・指導用イラスト)





# 男性歯科衛生士として歩んで

鹿児島県歯科医師会立口腔保健センター  
秋山 陽平 (鹿児島県歯科衛生士会)

■ ■ ■ ■ ■ 全国で活躍している男性歯科衛生士をシリーズで紹介します。 ■ ■ ■ ■ ■

## 【歯科衛生士になったきっかけ】

「かかりつけの歯科医院で求人が出ていたよ」という母の言葉をきっかけに、就職活動中だった私は、まずは話だけでも聞いてみようという気持ちで面接を受けました。結果、事務員兼歯科助



口腔保健センター前にて

手として勤務することになりました。その歯科医院の院長に「診療室内でやられた方がかっこいいし、給料も多くもらえるから、資格取ってやってみない?」と言っていただけたことで、歯科関係の資格取得を考え始めました。中でも歯科衛生士について調べたところ、教育カリキュラムが私の卒業した大学のも

のと似ていて、勉強したことが活かせるのではないかと考え、志すことにしました。健康に関与できる職業であることも動機の一つです。

## 【学生生活】

入学と同時に、それまでの生活が一変しました。九州初の男性歯科衛生士が誕生するかもしれないということで、幾度か新聞やテレビで取り上げていただきました。それまで、これほど注目を浴びることがなかったため、私は場違いなところに来てしまったのではないかと大きな不安に襲われたのを覚えています。歯科衛生士科で唯一の男子学生だったうえ、社会人を経ての入学だったので、周りの女子学生と一回り近く年齢の差があり、馴染めるか不安で、入学当初は本当に、これでよかったのかと自問自答する日々でした。しかし、講義や実習が始まり、課題や記録の多さや試験範囲の広さに圧倒され、目まぐるしい日々を送るうちに、不安を感じることも少なくなっていました。卒業後、無事に国家試験合格を果たしたときは、安心して涙が出るほどうれしく思いました。

## 【現在】

歯科衛生士として勤務するようになって9年、この期間に縁あって、開業医、病院歯科、教育機関と、さまざまな環境での経験をさせていただき、現在は鹿児島県歯科医師会立口腔保健センターに勤務しております。当センターは障害者(児)歯科が主



センター診療室内

ですが、県からの委託で県内の無歯科医地区や離島での診療、障害者施設の訪問や診療も行っています。

障害者歯科では今までの9年間の経験とは全く違うことがたくさんあります。特に、これまで

は接する対象が健常者や学生で、コミュニケーションも難なくとれていましたが、障害の種類や度合いによつてはそうもいかないことがあります。ユニットに座れない方、診療室に入れない方、体動がある方、音楽をかけながらだと落ち着いて受診できる方などさまざまです。そこで、笑気吸入鎮静法や静脈内鎮静法、全身麻酔下の歯科治療などいろいろあります。どのような場合に、どのような声掛けをして、どのような方法を選択したら、目前の患者さんに安心・安全な診療を提供できるかが課題です。これは障害者歯科に限ったことではありませんが、現在の私は、障害の種類とそれぞれの特性を理解し、一人ひとりの個性にあった診療を行うことの大切さを日々痛感しています。そして、歯科衛生士と言で言っても、多様なフィールドがあり、幅広い知識と技術が求められるのだと改めて実感し、日々研鑽に努めています。

## 【最後に】

男性歯科衛生士というだけで周りの方にすぐ覚えてもらえます。これはアプローチが苦手な私にとっては助かります。しかし、男性歯科衛生士の存在があまり知られておらず、やりがいと魅力のある職業にもかかわらず、志す男性がごく少数である現状はもつたいく感じています。及ばずながらも、拙稿が男性歯科衛生士の周知、増加に少しでもつながってほしいと願っております。

最後に、このような機会を与えてくださった日本歯科衛生士会の皆様に感謝申し上げます。また、これまで関わったスタッフの方や関係者の方々、患者さん、そして家族のおかげで歯科衛生士を続けてこられたのだと改めて感じています。今後もさまざまな経験を重ねて、知識・技術の向上に努め、一つでも多く吸収し、関わる皆様に還元できる歯科衛生士を目指して精進します。



離島診療



診療車内



センタースタッフ

# International Symposium on Dental Hygiene 2022

## 2022歯科衛生国際シンポジウム

2022年8月11日～13日 ダブリン(アイルランド)

テー マ

The Future in Our Hands ~未来は私たちの手に~

主な日程

演題募集開始 2021年5月4日 参加登録開始 2021年9月1日

演題募集締切 2021年10月1日 早期参加登録締切 2022年1月31日



最新情報は、  
ホームページを  
ご覧ください。

<http://www.isdh2022.com>



### 第6回サンスター財団 世界歯科衛生士賞 論文募集のご案内

世界歯科衛生士賞は、歯科衛生学や患者、地域社会、一般社会に優れた貢献をした歯科衛生士を称えることを目的とし、国際歯科衛生士連盟の主要スポンサーであるサンスターにより2004年に創設されました。応募資格や選考基準、賞の詳細については、サンスター財団のホームページ(<https://www.sunstar-foundation.org/aid/project/>)に掲載されています。

応募期限	授賞部門ならびに賞の概要
2022年1月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究部門 ..... 5,000ドル</li> <li>● 活動・プロジェクト部門 ..... 3,000ドル</li> <li>● 学生研究部門 ..... 2,000ドル</li> <li>● 学生活動・プロジェクト部門 ..... 2,000ドル</li> </ul>



上記に加え、各受賞部門の代表者1名に歯科衛生国際シンポジウム(ISDH)への全面参加のための費用が支給され、受賞論文のプレゼンテーションの機会が設けられます。2022年の授賞式は、アイルランド・ダブリンで開催されるISDH2022(<http://www.isdh2022.com>)において行われます。ISDHは、国際歯科衛生士連盟に加盟する世界30か国超の歯科衛生士が一堂に会する国際シンポジウムです。日本で取り組まれた研究の成果を世界の歯科衛生士に向けて発信できる、またとないチャンスです。奮ってご応募ください。 (国際協力委員会)



#### Linking JDHA to IFDH

#### 『International Journal of Dental Hygiene』

本会では、IFDH発行の『International Journal of Dental Hygiene』の購読をしています。2021年5月号の目次を紹介します。  
本会において閲覧することができますので、ご希望の方は国際協力委員会までお申し込みください。(FAX 03-3209-8023)

国際歯科衛生士誌

2021年5月 第19巻2号

#### 総 説

- 歯周病治療へのホウ酸の付加
- 高齢者における口腔健康状態と社会経済的要因、口腔関連QOLとの関連性：システムティックレビューとメタ分析

#### 原 著

- 高齢者のう蝕発現率とリスク因子に関する10年間の縦断研究
- 歯科衛生学生の高齢者対応に関する意識調査
- モーリシャス共和国の糖尿病と歯科ケアに関する職種は、患者に糖尿病の管理における口腔保健の重要性を伝えているか？
- イランにおける唾液とプラーク中のStreptococcus mutansとStreptococcus sobrinusの分布:f, k型S.mutansの罹患率が高い

- フロッシング習慣に関する動機づけビデオの効果：予備的研究
- 楕円結び型と従来型のデンタルフロスのプラーク除去効果：口腔内を分割して評価した場合の無作為比較試験
- マレーシアとオーストラリアの看護学生における口腔健康教育と臨床への認識
- 口腔清掃用具としてのハーブ含有の咀嚼スティックmiswakの臨床的調査：クロスオーバー無作為比較試験
- 酵素配合歯磨剤と通常のフッ化物配合歯磨剤のプラーク除去と歯肉炎症軽減の効果に関する比較試験

(国際協力委員会 委員 竹之内 茜 訳)